

平成28年第11回茂原市教育委員会会議（10月定例会）日程

日 時：平成28年10月27日（木）15：00～

場 所：茂原市役所9階901・902会議室

1 開会宣言

2 会議録署名人の指定

3 会議事項

（議決事項）

- 1 茂原市総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員の委嘱について

（報告事項）

- 1 第1回茂原市学校再編計画審議会について
- 2 平成28年度茂原市教育功労者表彰式について
- 3 行事の共催、後援及び協賛について
- 4 平成28年第12回（11月定例会）、第13回（12月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について
- 5 その他

4 閉会宣言

★（会議結果）

議決事項について、議案第1号は原案どおり可決されました。

## 茂原市教育委員会会議録

平成28年第11回（定例会）

- 1 期日 平成28年10月27日（木）  
開会 午後3時00分  
閉会 午後3時25分
- 2 場所 茂原市役所9階会議室
- 3 出席委員  
教育長 内田 達也  
教育長職務代理者 齋藤 晟  
委員 鈴木 一代  
委員 安藤 明子  
委員 高貫 裕一郎
- 4 出席職員  
教育部長 中村 光一  
教育部次長（体育課長） 豊田 実  
教育総務課長 麻生 新太郎  
学校教育課長 古山 幹夫  
生涯学習課長 長谷川 伊智郎  
中央公民館長 酒井 映明  
美術館・郷土資料館長 津田 芳男  
東部台文化会館長 渡辺 健司  
教育総務課主幹 中村 一之  
教育総務課副主査 東間 諭
- 5 署名人の指定  
委員 鈴木 一代  
教育長職務代理者 齋藤 晟
- 6 傍聴人 7名

- 内田教育長 : ただいまから、平成28年第11回茂原市教育委員会会議(定例会)を開会します。本日の出席人数は、5名ですので、定足数に達しており会議は成立いたしました。
- 本日の会議録署名人は、「鈴木委員」と「齋藤委員」を指定いたします。
- なお、本日の会議には、茂原市として新任の教頭先生7名に出席いただいております。
- 後ほど、職場における近況、課題等について、お話をお聞かせいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします
- これより会議事項に入ります。
- 本日は、議案が1件となっております。
- それでは、議案第1号「茂原市総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員の委嘱について」説明をお願いします。
- 中村教育部長 : 議案第1号「茂原市総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会委員の委嘱について」ご説明申し上げます。

本案は、茂原市総合型地域スポーツクラブ設立検討委員会設置要綱第3条第2項の規定に基づき、本市の実情に即した総合型地域スポーツクラブの設立に向けて調査・検討を行うため、高仲輝夫(たかなかてるお)氏ほか9名を新たに委嘱するものでございます。

なお、任期につきましては、平成28年11月1日から平成29年10月31日まででございます。

以上、ご審議の程よろしくお願いたします。

- 内田教育長 : それでは議案第1号について質疑をお願いします。
- 齋藤委員 : この高仲さんは、今までの生涯学習課長ではないですよね。
- 豊田 : 違います。元教員です。
- 教育部次長
- 齋藤委員 : 分かりました。ありがとうございました。
- 内田教育長 : 他にありますでしょうか。
- : なければ、議案第1号について採決に入ります。
- : 議案第1号について、原案どおり可決することに、ご異議ございませんか。
- 各委員 : 異議なし。
- 内田教育長 : 議案第1号は、全会一致で、原案どおり可決することと決定いたしました。
- : 次に、報告事項に入ります。報告事項1「第1回茂原市学校再編計画審議会について」説明をお願いします。
- 麻生 : 報告事項1「第1回茂原市学校再編計画審議会について」ご説明申し上げます。
- 教育総務課長 : 去る10月13日に第1回茂原市学校再編計画審議会を開催いたしました。傍聴者は8名おりました。まず、会長の選出があり、元教育委員の足立俊夫氏が選出されました。今回は第1回ということで、茂原市の人口や小中学校の現状、今後の児童生徒数の推計、小中学校の適正規模などについて事務局から資料に基づいて説明を行い、それに対する各委員の質疑や意見交換が中心となりました。
- : 審議会で出た主な意見について申し上げます。
- : まず、議題(2)「日本及び茂原市の人口推移・推計について」では、茂原市の年少人口は30年前から減少しており、もっと早くアクションを起こすべきだったとの意見がありました。議題(3)「茂原市の児童生徒数推移・推計について」、議題(4)「小中学校の適正規模について」、議題(5)「小規模校のメリット・デメリットについて」に関しては、再編にあたっては地域の意見も大事だが、当事者である子どもや保護者をメインに考えるべきとの意見や、保護者の立場からは子どもが多くて切磋琢磨できる環境が望ましいとの意見がありました。
- : また、全般を通しての意見としては、市の財政状況なども影響し、どこの学校でも運営にはPTAなどの協力が欠かせない実態があると、そのPTA連合会の委員2人より今回のこの審議会の内容について組織に持ち帰って話をしたいといった意見がございました。
- : 以上が、第1回の審議会の概要でございます。
- : なお、本会議の議事録については、次回の教育委員会会議でお渡ししたいと思います。
- : 以上です。
- 内田教育長 : それでは報告事項1について、ご質問等ありますでしょうか。
- 高貴委員 : 今のご説明の中で、PTA連合会の役員の方がPTAの方に持ち帰って組織で話をしたいということだったのですが、それは話をして、例えばですけども、そこで良いか悪いかどういいう結論になるか分からないですけども、それはこの審議会に反映されるものなののでしょうか。
- : それとも、この委員はPTA連合会の会長、副会長ということで出席していると思うのですが、PTA連合会としての意向をここで聞くのかどうかということをお伺いしたいのですが。
- 麻生 : 今回はPTA連合会の代表として、その経験、また保護者の立場からの意見を伺うために選出された委員ですけれども、その組織の意見をそのまま審議会に出すとか、PTA連合会の意見を反映させるということではありません。
- 教育総務課長 : あくまでも審議会については、委員の個人の意見として反映させていきたいと考えております。ただし、委員さんが課題に対し、こういう意見を出したいと、組織に意見を求めることは構わないと考えております。

- 麻生  
教育総務課長  
内田教育長  
高貴委員  
内田教育長  
齋藤委員
- ： 結果としては、PTA連合会の意見は当然反映されてくるのではないでしようか。以上です。
- ： よろしいでしょうか。
- ： はい。
- ： 他にありますでしょうか。
- ： 改めて確認なのですが、この審議会の委員を私たちが、この教育委員会が委嘱をしました。
- ： ですから、審議会から出された答申というものは当然尊重されるべきであつて、またそこで我々は多少意見の交換はするかもしれませんが、その答申というのは大事にしていくべきものだというふうな考えでいるのですけれども、それで良いのですよね。
- 麻生  
教育総務課長  
齋藤委員  
内田教育長
- ： その通りでございます。
- ： 最終的には教育委員会会議で答申をもとに決定いたします。
- ： 最後の決定はここでね、分かりました。ありがとうございます。
- ： 他にありますでしょうか。よろしいでしょうか。
- ： それでは次に、報告事項2「平成28年度茂原市教育功労者表彰式について」説明をお願いします。
- 麻生  
教育総務課長
- ： 報告事項2「平成28年度茂原市教育功労者表彰式について」ご説明申し上げます。
- ： 表彰式につきましては、例年どおり11月3日木曜日に市役所5階の会議室を会場に行います。当日ですが、教育委員の皆様は9時40分までに庁舎1階の東側入口で受付をしていただき、開会までは同じく1階の控室でお待ちいただきます。表彰式は10時に開会となりますので、以後はお手元にお配りした資料「平成28年度茂原市教育功労者表彰式について 次第(内部資料)」のとおり進めてまいります。当日は、産業まつりが市庁舎前の市民広場で開催されます。開会が10時ということで重なっておりますので、田中市長、深山市議会議員、横堀県議会議員は産業まつりのセレモニーが終わってから、10時30分頃に到着予定となっておりますのでご了承ください。
- ： また、鶴岡県議会議員は都合により欠席いたします。
- ： なお、午後は文化祭の巡回を予定しておりますので、併せてよろしく願いいたします。
- ： 以上です。
- 内田教育長  
齋藤委員
- ： それでは報告事項2について、ご質問等ありますでしょうか。
- ： 県の教育功労者表彰がありますが、それを頂いた方も茂原市の教育功労者表彰を貰えるのですか。県と市と両方一緒に貰うということがあるのですか。
- 古山  
学校教育課長  
齋藤委員  
内田教育長
- ： すでに県の教育功労者表彰は決定しておりますが、その受賞者も含まれております。
- ： 分かりました。
- ： 長生地区市町村教育委員会連絡協議会の表彰の方は重ならないのですが、市の表彰の方は重なります。
- 齋藤委員  
内田教育長
- ： そうですか、ありがとうございます。
- ： 他にありますでしょうか。よろしいですか。
- ： それでは次に、報告事項3「行事の共催、後援及び協賛について」説明をお願いします。
- 麻生  
教育総務課長
- ： 平成28年9月に教育委員会で決定しました共催、後援、協賛の行事についてご報告申し上げます。
- ： 「共催」につきましては、生涯学習課で「第65回茂原市文化祭」の1件でございました。「後援」につきましては、体育課で2件、学校教育課で2件、生涯学習課で3件ございました。「協賛」につきましては、生涯学習課で1件ございました。
- ： 以上です。
- 内田教育長  
鈴木委員
- ： それでは報告事項3について、ご質問等ありますでしょうか。
- ： 10月30日に学校教育課が後援している「2016もばらハロウィンフェスタ」というのが計画されているのですが、これはどのようなものなのでしょうか。
- 高貴委員
- ： 私の方からご説明させていただきます。

私、この「もばらハロウィンフェスタ」の実行委員長を務めておりまして、ご説明させていただきますと、アスモからまっすぐ伸びた「あかね通り」という通りがあるのをご存知でしょうか。ヤマハの音楽スタジオとかGUに向かったの通りを「あかね通り」と言うのですが、そこを一部封鎖、通行止めにして、ハロウィンのイベントをやろうということで、地元の自治会、それから周辺の企業等にご協力をいただいて実行委員会が立ち上がりまして、今回こういうハロウィンフェスタというイベントになりました。

一部大きな駐車場を借りてステージイベントとか、メインはあの通りを使って仮装パレードをやろうということで、茂原中学校の吹奏楽部に先導をいただいて、一般の参加者を募って、とくに対象はお子さんなのですが、仮装パレードをやります。それでハロウィンのイベントに来てくれた子どもたちにプレゼントを渡そうというそういうイベントを地元の自治会の皆さんと一緒にやって計画をしております。

- 鈴木委員 : ということは、今年初めてのイベントですね。
- 高貴委員 : まったく初めてのイベントでございます。
- 齋藤委員 : 参加してくれる人はどの位だと感じていますか。
- 高貴委員 : パレードそのものは事前申し込みということで、事前の申し込みをいただいているのですが、今の段階で100名をちょっと超えているところです。
- それ以外に当日の参加者のお問い合わせがかなりあるのと、周辺の皆さんが来ますので、概ね1,000人とか2,000人とか、その位にはなるのではないのかなというふうには考えております。
- 鈴木委員 : 東京ではD Jポリスが出て交通整理にあたるというようなニュースを聞いたのですが、怪我のないように気を付けてください。
- 高貴委員 : これにあたっては市役所の生活課にアドバイスをいただいて、あと警察にもご相談をさせていただいて、交通規制のご指示をいただいて、尚且つ警備会社を入れるということと、あとは一番のポイントは自治会の皆さんに警備として出させていただいて、万が一のことがあるといけないということで、見守っていただくということで自治会の皆さんにもお願いをしておりますので、何事も無いようにということで重々注意を払って望んでおります。
- また、万が一を考えて団体保険にも入っておりますので、何事も無いようにということで考えられるだけの手は打っていくというつもりでおります。
- 齋藤委員 : 主催者はハロウィンフェスタ実行委員会ということですが、その母体は何ですか。
- 高貴委員 : 一番の母体は、アスモかもしれないです。
- というのは、一番の金銭的な面でどうなのかと言ったときに、今協賛金であったりとか、そういったことをいろいろな企業にお願いをしているところなので、万が一という場合には、アスモの販促活動を行っている部署があるのですけれども、そこが担うという予定ではあります。
- 齋藤委員 : はい、ありがとうございます。
- 内田教育長 : だいぶ詳しくご説明いただきました。
- 鈴木委員 : はい、分かりました。よろしく申し上げます。
- 内田教育長 : よろしければ次に、報告事項4「平成28年第12回(11月定例会)、第13回(12月定例会)茂原市教育委員会会議の日程について」説明をお願いします。
- 麻生教育総務課長 : 11月定例会は、11月22日火曜日の15時から、12月定例会は、12月22日木曜日の15時から、いずれもこの9階会議室で開催を予定しております。
- 以上です。
- 内田教育長 : 会議日程について、よろしいでしょうか。
- それでは日程について、そのようにお願いいたします。
- その他報告がありましたら、お願いいたします。
- 古山学校教育課長 : 「平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について」ご報告いたします。
- 本調査は、4月19日に文部科学省によりまして、小学校6年生、中学校3年生の全児童生徒を対象に行われまして、9月30日に集計結果が公表になったところであります。
- 「1 調査内容」ですが、「(1) 教科に関する調査」としまして、国語A、算数・数学A、このA問題は知識に関する問題であります。国語B、算数・数学Bは

、B問題については活用に関する問題でございます。

また、「(2)生活習慣や学習環境等についての調査」も併せて行われました。

「2 教科区分別調査結果」ですが、左の表が小学校、右の表が中学校でございます。市・県・全国の平均正答率をパーセントで示しております。

「教科についての傾向と課題」ですが、小学校の場合、国語Aは全国をやや上回り、国語Bは同程度、算数ABは全国をやや下回っております。中学校の国語ABは全国をやや下回り、数学ABは全国を下回っている状況でございます。

裏面には、参考としまして「都道府県別の平均正答数・正答率」を示しております。千葉県の場合は、全国とちょうど同じ位、同程度の成績でございます。

今後の対策としましては、教育委員会では、校長会の代表とそれから各教科の教員代表からなる分析委員会を昨日までにすでに3回実施をしまして、課題に対する補充問題を作成しております。11月中には、各学校にメール配信をしまして、年度末までに実態に応じて取り組み、その結果をまた教育委員会の方に報告をしてもらうように準備を進めているところでございます。

各学校においては、千葉県の方で作成をしました結果分析ツールという表計算のソフトがございますが、それを活用しまして個人それから学校、学級と、もう少し細かい分析をして、それぞれの教科の指導方法の改善に役立てて学力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

また、家庭と連携をしまして、家庭学習の手引き等を配付したり、これは学校ごとの取り組みにはなりますけれども、学習指導の充実をさらに図ってまいりたいと考えております。

以上です。

内田教育長 : 全国学力・学習状況調査の今年度の結果について報告がありましたが、何かご質問等ありますでしょうか。

齋藤委員 : 学力テストは、学校の優劣をつけるためでは無く、不得意なところは、いけないところはどこだということを精査するということが第一の目的だと思います。この資料で見ると、全国を上回っているのは小学校の国語Aだけです。かなり良い状況ではないと思いますので、これは精査が本当に必要だと思います。そして、しっかりとした対策のもとに、せめて全国レベルに追い付くように、あるいは千葉県レベルに追い付くように頑張ってください。

強いて言えば、ここでもって何が足りないか、何をやるのかということをお聞きしたいくらいなのですが、答えられますか。

古山  
学校教育課長 : それぞれの学校ごとに課題というのが違ってきますので、その該当の学年、小学校なら6年生、中学校なら3年生の詳しい分析の実施が学校でもう終わっているところだと思います。それぞれの教科での取り組みがすでに行われているというふうに考えております。

小学校では、全国学力・学習状況調査の他に県の標準学力検査というのも2月に実施しております。これは1年生から6年生までのすべての子どもたちが実施をしている訳ですが、こちらについても分析をしながら苦手なところ、課題のあるところについての克服に努めているところでございます。

以上です。

齋藤委員 : その分析が的を射ていることを期待いたします。

内田教育長 : 他にはよろしいでしょうか。

それではこの調査というのは、小学校の6年生と中学校の3年生で行われていて、今回の場合には連続して行っている3年目になるので、この学年の子どもたちが小学校6年生のときの結果も出ているのですけれども、この学年の子どもたちのときに、小学校6年生のときにも若干低かったのです。低かったから中学校でも低いというような言い訳する声は聞こえていませんが、今齋藤委員からもご指摘いただきましたけれども、今日は教頭先生方もおいでになっていますけれども、各学校でこの結果を分析して、今後のために力を付けてあげるようお願いしたいと思います。

それでは他に報告事項ありますでしょうか。

津田美術館・  
郷土資料館長 : 茂原市立美術館・郷土資料館から「茂原市立美術館・郷土資料館入館者数100万人記念イベント」についてお知らせをしたいと思います。

茂原市立美術館・郷土資料館は、平成6年10月にオープンしまして今年で22年

目になります。現在、入館者数が99万8,400人と、100万人にあと一歩というところになりまして、100万人到達を記念してイベントを開催したいと考えております。あと1,600人ほどですので、例年のこれからの美術館のイベントとしましては、茂原市の文化祭が始まりますが、その時の入館者数がだいたい平均して1,500人は確実に来ておりますので、この文化祭の期間中、おそらく11月10日から13日の間に100万人に到達するのではないかと考えております。到達いたしましたら、くす玉を割ったりですとか、100万人目の方に記念品を差し上げたりとか、そういうイベントを計画しておりますので、よろしく願いをしたいと思っております。

以上です。

内田教育長 : それでは茂原市立美術館・郷土資料館の入館者数100万人記念イベントについて、何かご質問等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは他に報告事項ありますでしょうか。

なければ、以上で第11回教育委員会会議を閉会します。

茂原市教育委員会会議規則第27条の規定により、上記会議録が相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年11月22日

教育長 内田 達也

署名委員 鈴木 一代

署名委員 齋藤 晟